

# 介護事業の経営効率化を支援する 介護サービス支援システム

富田佳司\*  
杵淵義昭\*  
中島克己\*

Long-Term Care Insurance Service Support System

Keiji Tomita, Yoshiaki Kinefuchi, Katsumi Nakajima

## 要 旨

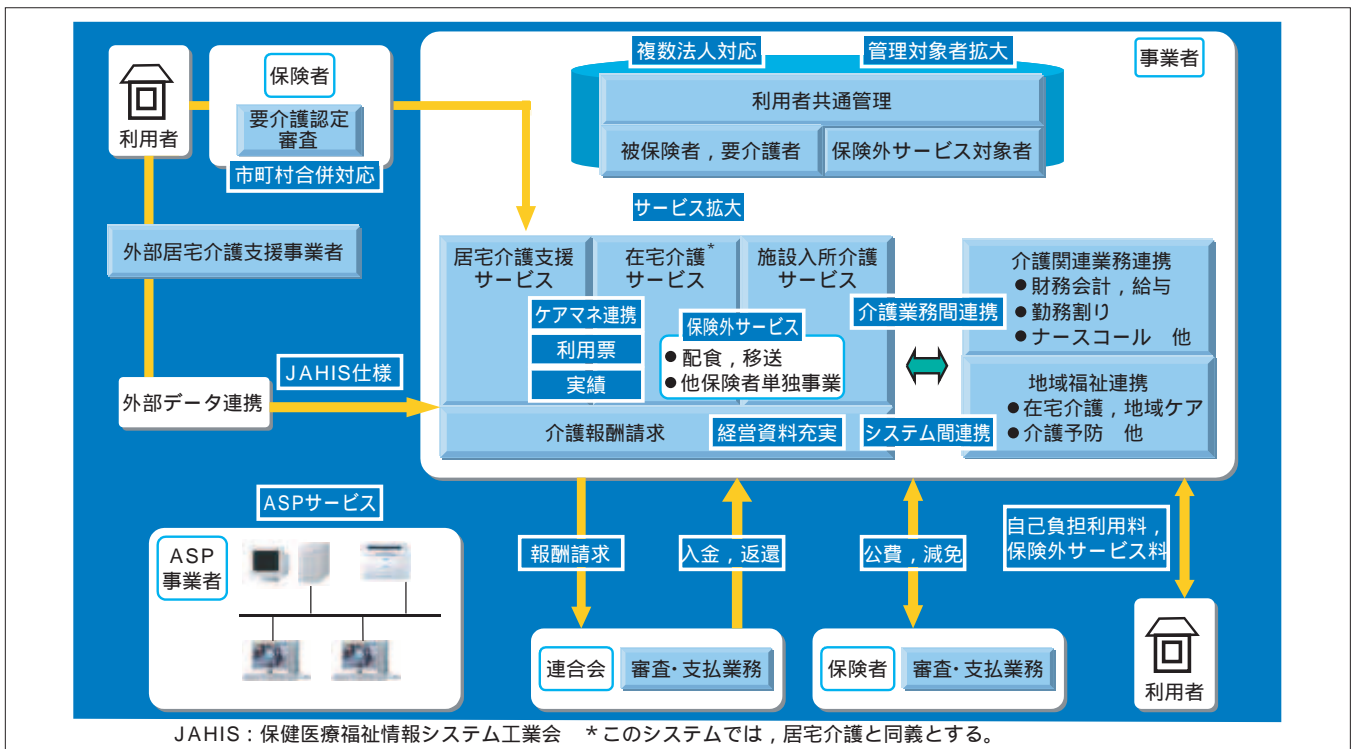
2000年に公的介護保険制度が施行されてから6年目を迎え、介護サービスの充実化と2005年度に制度の抜本的見直しが予定されている状況を踏まえ、三菱電機インフォメーションシステムズ(株) (MDIS)では、制度発足時から提供してきた介護システムを一新し、新たな介護サービス支援システムを開発した。

この新しい介護サービス支援システムは、居宅介護支援、在宅介護、施設入所介護の各サービス業務をトータルに支援する機能を提供している。また、複数の事業所を展開する事業者や広域サービス事業者にも対応できる本部機能を提供しており、売上状況や利用者動向など経営判断に役立つシステムの提供を目指している。

介護サービス事業は、事業者の事業規模により、システム規模も様々である。MDISの介護サービス支援システムは、小規模事業所向けのスタンドアロンタイプのシステムから、複数事業所を展開する法人事業者向け広域ネットワ

ークシステムまでをカバーする。複数の事業所を持つ事業者向けのシステム構築にクライアント/サーバシステムで構築した業務プログラムがそのまま利用でき、かつ、業務プログラムやデータを集中管理できるシステム構築方式としてSBC( Server Based Computing )方式を採用した。この方式の採用により、個別の事業所及び全事業所を統括する本部でのシステム運用・保守業務が軽減できる。SBCサーバを設置したデータセンターのみに個人情報を集中保管及び管理することで、個人情報保護対策なども容易に実現できる。また、サービス事業規模の急成長に伴う端末の増設・移設が容易に行えるなど、システムの運用・保守コストの大幅低減を実現している。さらに、ASP( Application Service Provider )事業者にもシステムを提供していく。

MDISの介護サービス支援システムは、介護サービス業務の効率化とシステムの運用・保守の効率化の両面から、介護サービス事業の経営効率化をトータルに支援する。



## 介護サービス支援システムの概念

介護サービス支援システムは、居宅介護支援、在宅介護、施設入所介護の業務運用をサポートしており、あらゆる介護サービス事業者へのシステム提供が可能である。サービス利用者の利用実績を集計して、介護サービス事業者から自治体、国保連、金融機関へ情報の受け渡しを行う。また、システム構築方式にSBC方式を採用したことにより、小規模事業者から大規模事業者までの幅広い範囲で、システム運用・保守業務の大幅軽減やセキュリティの強化を図ることが可能となった。

\*三菱電機インフォメーションシステムズ(株)